令和2年度

道徳教育全体計画

規

日本国憲法

諸

- 教育基本法
- 学校教育法
- 高等学校学習指導要領

各 教 科 · 科 目

法

玉

語

多くの作品に触れたり、短歌 創作活動をすることで、豊かな 感性や創造力を養う。また、他 者の意見を尊重しながら、自分 養う。

地 歴

日本及び世界の歴史や生活・ 文化について理解を深め、国際 社会で主体的に生きていく人間 としての自覚と資質を養う。

公

民

現代社会のさまざまか問題を 主体的に考察して理解を深める とともに、人間としてのあり方 や生き方について自覚をもた せ、民主的な社会の形成者とし て必要な資質を養う。

数

数学的な見方・考え方を働か せ、数学的活動を通して、事象 を論理的に考察したり、粘り強 く問題を解決しようとする態度 の基礎を養う。

理

科

自然現象や身近な生活を科学 的にとらえ、探究する力を育成 するとともに、科学技術の恩恵 とその適切な利用について考察 する力を養う。

保 健 体

生涯にわたって豊かなスポー ツライフを継続する資質や能力 を育てるとともに、健康の保持 増進のための実践力育成と体力 の向上を図り、明るく豊かで活 力ある生活を営む態度を育む。

術

実技や鑑賞をとおして、集中 力や豊かな創造力、情操を養う。

英

話し手の意向を理解するコミ ュニケーション能力を養う。

家

基礎的・基本的な知識・技術 を習得させ、人として自立した 生活が送れるような力を養う。

報

庭

情報モラルと情報活用のマナ ーを育む。

商 業

資格取得をとおして、社会生 活に役立つ能力を養う。

校

訓

志(こころざし) 道 (みち) 和 (わ)

学校の教育目標

- 創造力に富み、情操豊かにして道義感の強い人間の育成
- 自主的・積極的な精神の涵養と、健康で明るい人格の育成
- 3 国家社会の発展に寄与し得る国民の育成

重

- 安全・安心な学校づくりを徹底し、生徒の安定した日常生 活のために迅速・かつ適切な対応と環境整備を推し進める。
- 2 学習習慣の確立を目指し、生徒主役型授業の実践と生徒の 立場に立った授業づくりを徹底する。
- 3 進路意識の高揚と進路指導の充実のために情報の蓄積・共 有・利活用・検討改善を継続的に実施していく。
- 4 自主性・自律性の伸長と規律ある生活態度の育成を目指し、 自己指導力と自他を尊重する思いやり精神を醸成する。
- 5 統率のとれた組織体制の確立のために情報を共有し、共通 理解をもって生徒の支援・指導にあたり続けていく。
- 6 開かれた学校づくりの推進を目指し、教育活動の積極的な 公開と地域社会・PTA・同窓会との連携・協働を継続する。

道徳教育重点目標

- 1 基本的生活習慣を確立し、節度を守り節制に心掛け、心身 の調和ある生活の実現に努める。
- 2 他の人々の立場を尊重し、感謝と思いやりをもって接する。
- 生命の尊さを深く理解し、かけがえのない生命を尊重する。
- 集団の意義について理解し、役割と責任をもち、他者との 協力関係の向上に努める。

生 徒 指 道

- 1 基本的な生活・学習習慣の形成を図り、落ち着いた学校 生活が送れるように指導する。
- 2 自主・自立の精神を養い、個性の伸長と人格の形成を図 り、充実した学校生活が送れるように支援する。
- 3 関係諸機関及び地域や家庭との連携を図り、相互の協力 関係を整える。

総合的な学習の時間

- 1 地域の題材に関する調査活動をとおして、課題解決の方法 を身につけさせるとともに、地域に対する愛着心を育む。ま た、より良い社会を築くために、自己の生活を見直し、望ま しいあり方について考える力を育む。
- 2 自己分析講座や職業講座をとおして、多角的な視点をもっ て物事を捉える力を育み、積極的に自己実現できるような姿 勢・態度を身につけさせる。また、社会の中でどのように生 きるか自己分析・自己理解を図り、職業選択や卒業後の進路 について考える力を育む。
- 3 進路実現のために必要な情報を集め、計画的に進路活動を 進める力を身につけさせる。また、社会人として求められる 資質について考え、よりよく生きるための望ましい人生観を もたせる。

宮城県岩出山高等学校

生. 徒の 態 実

ほとんどが旧古川市と大崎西部出身 者で温厚な生徒が多く、落ち着いた学 校生活を送っている。学校行事に積極 的に取り組む生徒が多い。

地域での位置付け

本校は、県の北西部、自然豊かな学 問のまち「旧岩出山町」に位置してい る。進学・就職のどちらの進路希望に も対応できる普通科高校として、本校 造郡唯一の高校であることから、「地 元の高校」として、地域の方々からの 深い理解と多大なる協力を得ながら、 日々の教育活動を推進することができ

家庭・地域との連携

- 「豊かな心」を育むための取り組 みとして、家庭 ・地域・関係諸機 関等と積極的に連携しながら教育活 動を推進する。
- 2 保護者・地域への広報活動を充実 させ、信頼される・開かれた学校づ くりを推進する。
- 3 各委員会組織の活性化を図り、充

特 活 動 別

- 1 心身の発達、個性の伸長、集団の 一員としての資質を養う。
- 2 自主的・主体的な生活態度を育成 し、諸課題への対応及び自己実現に 向けての態度を養う。
- 3 ホームルームや学校生活への適応 を図り、その充実と向上に向け、生 徒が直面する諸問題への対応及び健 全な生活態度の育成に資する活動を 行う。

ボランティア活動

- 1 奉仕的精神を涵養するとともに、 地域理解と地域貢献を目指して、ボ ランティア活動を奨励する。
- 2 地元イベントへの全校ボランティ ア参加をとおして、地域の一員であ る自覚と、自己肯定感をもたせる。